

(資料提供)

月 日	担当館名	電話	担当者
4月10日	県立近代美術館	電話 088-668-1088 ファクシミリ 088-668-7198	学芸課 安達、友井

所蔵作品展「徳島のコレクション 2012 - II」(前期)

「特集 平成 23 年度新収蔵作品」の開催について

1. 趣旨

コレクションを紹介する展覧会です。その時々テーマを設定した「特集」コーナーと、収集方針に合わせた「20世紀の人間像」、「徳島ゆかりの美術」、「現代版画」のコーナーとで作品を紹介しています。所蔵作品展「徳島のコレクション 2012 - II」(前期)の特集は「平成 23 年度新収蔵作品」です。

この資料提供では、特集「平成 23 年度新収蔵作品」をはじめとする所蔵作品展「徳島のコレクション 2012 - II」(前期)の展示についてご案内します。

2. 会期 4月14日[土]～6月24日[日]
「徳島のコレクション 2012 - II」の全会期は、4月14日[土]～9月2日[日]です

3. 会場 徳島県立近代美術館

4. 開館時間 午前9時30分～午後5時

5. 休館日 月曜日(4月30日は開館します)、5月1日(火)、

6. 観覧料 一般 200円(160円)
高校生・大学生 100円(80円)
小学生・中学生 50円(40円)

()内は20名以上の団体料金です。

割引、無料日があります。

- ・障害者、65歳以上の高齢者は、半額となります。
- ・小学生、中学生、高校生は、土・日・祝日、振替休日は無料となります。
- ・大学生、一般は、祝日、振替休日は無料となります

7. 内容

【特集 平成 23 年度新収蔵作品】

会場：展示室 1

出品点数：全 25 点 5月21日に一部展示替えを行います。

全期間展示が5点、前半(4/14～5/20)、後半(5/22～6/24)のみが各10点です。

内容：

新たに収蔵された作品から、人間を主題とした作品を展示します。量塊による彫刻の生成を制作のテーマとする黒川弘毅(1952年-)の彫刻作品、構成により空間へのアプローチを行った森口宏一(1930-2011年)が自分の体を作品に反映させた彫刻作品、昨年春に特別展を開催した森口ゆたか(1960年-)の映像を使った作品、この他、日本画家の小嶋悠司(1944年-)の学生時代から近年までの40年間に渡る期間の人体デッサン、三谷十糸子(1904-92年)の日本画(前半に展示)、中西利雄(1900-48年)の水彩画(後半に展示)を紹介いたします。

【20世紀の人間像】

会場：展示室1、美術館ロビー

出品点数：33点

内容：

このコーナーでは、イヴ・クライン(1928-62年フランス)の「空気の建築」ANT119を始め、人体の形態や動きに注目してコレクションから作品を選んだ作品を中心に紹介します。また、小嶋悠司の日本画「穢土」(1985年)を、新収蔵の人体デッサンの展示に合わせて展示します。

【現代版画】

反復と連続 - 郭仁植

会期：4月14日[土]～5月20日[日]

出品点数：26点

反復と連続 - 李禹煥

会期：5月22日[土]～6月24日[日]

出品点数：19点

会場：展示室1

内容：

現代版画のコーナーでは、各期ごとにテーマを設けて作品を紹介します。「徳島のコレクション2012-II」では「反復と連続」をテーマに、作家の個展形式で開催します。

今期は、韓国出身ながら日本での活動歴が長い郭仁植(クウァク・イン=シク 1919-88年)と李禹煥(リ・ウー=ファン 1936年-)の2人の作家を取り上げます。郭仁植はその先駆的な活動で日本の現代美術を代表する「もの派」に影響を与えたといわれ、李禹煥はその「もの派」の中核作家のひとりです。

【徳島ゆかりの美術】

会場：展示室2

出品点数：15点

内容：

清原重以知(1888-1971年)を始め、原鵬雲(1835-79年)が描いたと伝えられる作品や石川真五郎(1893-1972年)の油彩画、山内春暁人(1904-91年)の日本画など徳島ゆかりの作家による新収蔵作品を中心とした展示となります。

原が描いたと伝えられる「楠公櫻井驛図」は、明治になって日本で本格的に洋画が描かれ始めた時期の油彩画で、日本の近代美術史を考える上で非常に貴重な作品です。清原は、光風会や日展などで活躍した徳島を代表する洋画家のひとりです。

このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に11点を展示します。

作品保護のため、一部の作品は展示替えを行います。

展示作品の合計は、43作家による129点となる予定です。

・都合により内容が変更になる場合もあります。

8. 関連事業

【徳島のコレクションツアー】

日時：4月30日(月、振替休日)と5月27日(日)いずれも午後2時～2時45分

場所：展示室1,2

内容：学芸員が新収蔵作品を中心に展示解説を行います。

料金：4月30日は無料。5月27日は高校生以下は無料、大学生、一般の方は観覧料が必要です。